

活動報告

開催日	報告内容
2019年 4月6日	知的財産法研究会（北海道大学） Alexander PEUKERT（Professor of Civil Law and Commercial Law, Goethe University Frankfurt） “The Public Domain and the Subject Matter of Intellectual Property Law”
2019年 4月20日	知的財産法研究会（北海道大学） 嶋 拓哉（北海道大学大学院法学研究科教授） 「不競法の国際的な法の適用関係」
2019年 5月29日	知的財産法研究会（東京大学） Heinz GODDAR（Honorary Professor, The University of Bremen, Ger- many; European and German Patent and Trademark Attorney） “Contributory/Indirect Patent Infringement in Germany”
2019年 6月8日	知的財産法研究会（東京大学） 高野 慧太（神戸大学大学院法学研究科助教） 「著作権の保護範囲と著作物の類似性」
2019年 6月21日 ～22日	粤港澳大湾区知的財産協力発展会議 場所：広州科学城会议中心（中国・広州） 田村 善之（東京大学大学院法学政治学研究科教授・北海道大 学名誉教授） “Japan’s Intellectual Property High Court: Its History, Status Quo and Challenges”
2019年 6月28日	知的財産法研究会（東京大学） 中空 萌（広島大学大学院国際協力研究科講師） 「知的所有権の人類学」
2019年 7月7日	知的財産法研究会（北海道大学） 竹中 俊子（Professor, University of Washington School of Law; 慶應義塾大学大学院法務研究科教授） 「Patents for Sharing: Open Innovationにおける特許権の財産権 としての性格再考」

<p>2019年 7月13日</p>	<p>知的財産法研究会（北海道大学） 清水 紀子（北海道大学大学院法学研究科修士課程） 「医薬品等の特許権存続期間延長登録出願における『特許発明の実施をすることができなかつた期間』を算定するために参酌すべき試験」 ※詳細については、本誌月号掲載の論文を参照されたい。</p>
<p>2019年 7月24日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） 竹中 俊子（Professor, University of Washington School of Law; 慶應義塾大学大学院法務研究科教授） 「製品形態・パッケージの知財重複保護：立体商標保護の比較法的考察」</p>
<p>2019年 8月2日</p>	<p>知的財産法研究会（北海道大学） Sapna KUMAR（Professor, The University of Houston Law Center Faculty） “Innovation Nationalism: Advancing Nationalism Through Patent Rights”</p>
<p>2019年 8月8日</p>	<p>知的財産法研究会（北海道大学） 朱 子音（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） 「ゲーム用ソフトウェアについて遊戯装置にしか装填できないことを理由に『にのみ』型間接侵害を認めた事例」 ※詳細については、本誌第54号に掲載の評釈を参照されたい。</p>
<p>2019年 9月28日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） 末宗 達行（早稲田大学法学部講師） 「デザイン保護法制のあり方に関する試論－創作非容易性（非自明性・進歩性）の果たす役割に着目して－」</p>
<p>2019年 10月14日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） Enrico BONADIO（Senior Lecturer, The City Law School, City, University of London） “The Encounter between Robots, Artificial Intelligence and Intellectual Property”</p>

<p>2019年 10月22日</p>	<p>知的財産法研究会（北海道大学） Enrico BONADIO (Senior Lecturer, The City Law School, City, University of London) “Street Art, Graffiti and Copyright” 小島 立（九州大学大学院法学研究院准教授） “Legal Issues Related to Graffiti and Street Art in Japan”</p>
<p>2019年 10月24日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） 時井 真（Former Researcher, Max Planck Institute for Innovation and Competition; 北京大学法学院博士課程） 「KSR最判及びその影響に関する統計分析」</p>
<p>2019年 11月13日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） 谷川 和幸（福岡大学法学部准教授） 「発信者情報開示請求事件と著作権法」</p>
<p>2019年 11月27日</p>	<p>知的財産法研究会（東京大学） 山本真祐子（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） 「他人の氏名を含む商標登録出願について、商標法4条1項8号該当性が認められた事例（知財高判令和元年8月7日平成31年（行ケ）10037号 [KENKIKUCHI]）」 劉 一帆（東京大学大学院法学政治学研究科博士課程） 「機能的な定義やスクリーニング方法により特定したクレームにつき実施可能要件・サポート要件の充足を認めた判決の意義（知財高判平成30年12月27日平成29年（行ケ）10225号 [プロタンパク質コンベクターゼスプチリシンケクシン9型に対する抗原結合タンパク質]）」 ※詳細については、本誌第56号に掲載予定の評釈を参照されたい。</p>
<p>2019年 11月28日 ～29日</p>	<p>Artificial Intelligence & Intellectual Property Conference Singapore Management University, Singapore 中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授・同大学情報法政策学研究センター長） “AI and Patentability (Inventive Step)”</p>
<p>2019年 11月30日</p>	<p>The 8th VIPP (Visionary IP Professors) Roundtable Singapore Management University, Singapore 中山 一郎（北海道大学大学院法学研究科教授・同大学情報法政策学研究センター長） ※中山一郎教授は、すべてのセッションに参加して議論を行った。</p>